

【問い合わせ先】  
島根県病害虫防除所 [担当：奈良井・澤村]  
TEL：0853-22-6772  
FAX：0853-24-3342

## 令和2年度 病害虫発生予察情報 技術情報第5号

令和2年8月25日  
島根県病害虫防除所

### ハスモンヨトウの発生状況について

ダイズを加害するハスモンヨトウの発生が平年に比べて多くなっています。本種はダイズの他、キャベツなどのアブラナ科野菜、トマト、ネギ類、アスパラガス、ソバなど多くの作物を加害します。現地では発生状況の把握に努め、適切な防除対策を講じてください。

#### 1. 発生状況

- 1) ダイズ白変葉(図2)の初発生は平年より早く、7月下旬に県西部で観察された。8月19-20日の調査では県内半数以上のほ場で白変葉が観察され、1a当たり白変葉(幼虫の初期被害)か所数は0.75か所(平年0.40か所)でやや多い(表1)。
- 2) 出雲市のフェロモントラップにおける7月4半旬～8月4半旬までの累積誘殺数は428頭(平年194.5頭)で多い。益田市のフェロモントラップにおける7月4半旬～8月4半旬までの累積誘殺数は296頭(平年300.6頭)で平年並みである(図1)。
- 3) 現在、野菜類ではイチゴとサトイモで本種の被害を認めている。今後、アブラナ科野菜の播種・定植が始まり、本種の産卵・寄生が増加すると考えられる。

#### 2. 防除上参考となる事項

- 1) 本種は上記の作物の他、キクやトルコギキョウ等の花き類、ブドウやカキ等の果樹類、ヤマイモやサツマイモ等の芋類など多くの作物を加害する。
- 2) 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので若齢幼虫期に重点をおいて防除する。
- 3) 施設栽培ではハウスサイド、出入り口、天窓等の開口部に防虫ネットを被覆するなど、成虫の侵入防止に努める。また、本種は卵塊で産卵するため、白変葉などの初期被害を葉ごと切り取り、処分すると寄生密度低減に有効である。
- 4) 薬剤の使用に当たっては、本県農作物病害虫雑草防除指針 (<https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/byougaityuu/bouzyosisin.html>) を遵守する。
- 5) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターHP (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>) で確認できる。

#### 3. 資料

表1 ハスモンヨトウの発生状況 (ダイズでの調査)

調査時期	発生ほ場率 (%)		1 a 当たり白変葉か所数	
	本年	平年	本年	平年
7月下旬	7.7	1.0	0.08	0.01
8月中旬	39.5	—	0.48	—
8月下旬 <sup>注)</sup>	53.4	21.1	0.75	0.40

注) 本年の調査は8月20-21日に行った。

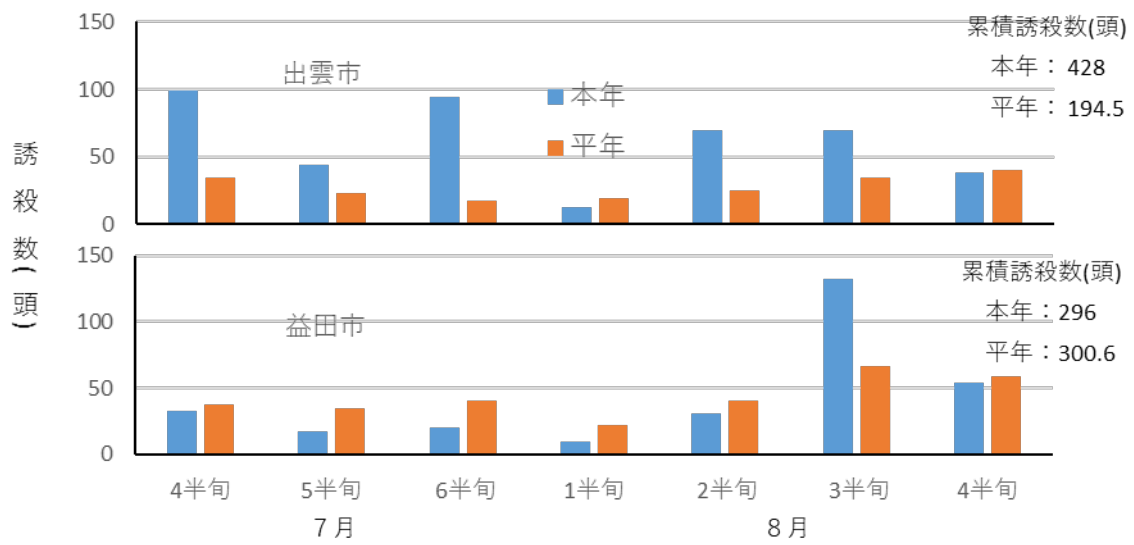


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数



図2 ダイズの白変葉 (幼虫の初期被害)



図3 キャベツ葉上のハスモンヨトウ幼虫と卵塊(右上)、成虫(右下)